

警 察 署 協 議 会 議 事 録

協 議 会 名	令和6年第2回 宮城県泉警察署協議会
開 催 日 時	令和6年6月28日（金）午後3時30分から午後5時10分まで
開 催 場 所	宮城県泉警察署3階道場
出 席 者 等	1 協議会委員 ・ 出席委員～遠藤昇会長、安達高明委員、安藤真史委員 佐々木知保委員、枡澤慶悦委員、大場信哉委員 南菌愛委員、堀越康寛委員 ・ 欠席委員～小川ゆみ副会長、齋藤直人委員 2 警察署側 署長、副署長、刑事官、副参事、会計課長、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長
議 事 概 要	別紙のとおり
備 考	

議 事 概 要	1 報告事項等 管内の治安情勢について (1) 令和6年5月末における刑法犯認知・検挙状況について（刑事第一課長） 刑事第一課長から、令和6年5月末における刑法犯認知・検挙状況について説明がなされた。 (2) 令和6年5月末における特殊詐欺発生・検挙状況等について（刑事第二課長） 刑事第二課長から、令和6年5月末における特殊詐欺発生・検挙状況、SNS型投資詐欺・SNS型ロマンス詐欺の被害状況について説明がなされた。 (3) 令和6年5月末における人身安全関連事案の発生状況について（生活安全課長） 生活安全課長から、令和6年5月末における人身安全関連事案の発生状況について説明がなされた。 (4) 令和6年5月末における交通事故の発生状況等について（交通課長） 交通課長から、令和6年5月末における交通事故の発生状況等について説明がなされた。 (5) 委員からの質問、意見、要望 ア 刑事第一課の報告について 【委員】 乗り物盗の犯人の年齢層について詳しく聞きたい。 【刑事第一課長】 犯人の年齢幅は広がっている。 自宅までの足に使う等の目的で盗んでいることが多い。 【委員】 被害の発生場所で多いのはどこか。 【刑事第一課長】 駐輪場で盗まれることが多い。 駐輪場に駐める際、鍵を掛けずに駐めて被害に遭っている自転車が半数以上である。 【委員】 駐輪場にはロックなどの設備はないのか。 【刑事第一課長】 ロックがある場所とない場所がある。
---------	---

また、被害に遭っている自転車の種類としては、元々施錠設備が付いていないスポーツタイプの自転車が多くなっている。

【生活安全課長】

駅周辺の駐輪場だけではなく、マンションや大型商業施設における被害も発生しており、警察では鍵を2つ以上付けるツーロックを呼びかけている。

また、鍵を掛けずに自転車が盗まれる年齢層として、学生の被害が多くなっている。

【委員】

学校等でも、見回りをした際に、ツーロックをしていない自転車を見つけると、使用者を呼び出して鍵を掛けさせるようにしている。

イ 刑事第二課の報告について

【委員】

高齢者の見守り活動の一環として、高齢者と地域住民が一組のペアになり、防犯・声掛け活動を行っている。

以前地域の防犯講話の中で、特殊詐欺防止の寸劇を見せてもらったが、分かりやすくとても良かったので、今後も続けてもらいたい。

高額の特種詐欺被害が出ていると分かったので、地域の中でも地道に広報活動を続けていきたいと思う。

ウ 交通課の報告について

【委員】

自転車に関わる交通事故件数について聞きたい。

また、自転車の走行マナーが悪いと感じているので、交通ルール広報や指導取締りをして欲しい。

【交通課長】

自転車に関わる事故は、負傷者のいない場合、警察に届け出されずに当事者間で処理されることもあり、これらの数も含めた全体としての件数は分からない。

交通指導の一環として、プロのスタントマンに敢えて危険な交通事故を再現してもらい、交通ルール遵守意識の大切さを学ばせるスケアードストレート方式を取り入れた交通安全教育を行っている。

また、自転車交通量が多い場所での広報活動もランダムに実施しており、今後も啓発活動を続けていく。

【委員】

自転車と歩行者のエリアが明確に区別されている地域と区別されていない地域がある。

区別されていない地域では、歩行者のすぐ横を自転車が猛スピードで走り抜ける等危険の感じる時がある。

【交通課長】

自転車と歩行者の分離は、全国でも先駆けて実施している施策である。

自転車に速度違反という違反形態はないが、歩行者の近くでは徐行する決まりになっていることから指導を継続していく。

また、自転車と歩行者が描かれている青色の標識がある場所では、自転車も歩道通行ができるが、原則的には自転車は車道、歩行者は歩道と区別されている。

【委員】

交通違反で取締りを受けた人から聞く言葉で、「見えるところに警察官がいればしっかりと運転していた」ということをよく耳にするが、そのような人にはどのように声掛けしたら良いのか。

【交通課長】

見られているか見られていないかを基準にするのではなく、見られていないところでもしっかりと交通ルールを守って運転するように声掛けしてもらいたい。

【委員】

泉地区では山を切り開いた新興住宅地の新設が進んでいるが、新しく住み始めた住民の車や自転車が猛スピードで坂を下ってくるなど危険な運転が見受けられることから、新しい地域・住民に対する交通ルールの広報・指導もしてもらいたい。

エ その他

【委員】

高森地区には、幼稚園と小学校の間に大きめの道路があるが、通勤等の抜け道になっており車両の交通量が非常に多くなってる。

信号機がないため、小学生等が道路を渡るのに苦労しており、横断の手助けを地域住民が行っている。

色々な制約があると思うが、信号機の設置等を検討してはもらえないか。

議 事 概 要

【交通課長】

各地区で信号機設置の要望があるのは把握しているが、信号機を新設する場合、現地の各種調査を行い、県側に報告し予算の範囲内で設置することになっている。

因みに、去年は10機未満の設置数だったと記憶しており、それほど新設するのはハードルが高い状態である。

まずは、各地域であまり使われていない不要な信号機を確認・撤去をして、不要なランニングコストを削減し、予算の確保ができるように活動を継続した上で、信号機の必要性を見極めた対応をしていきたい。

【委員】

高齢者が多く住んでいる地域では、パトカーや白バイの姿を見るだけで安心感を感じている方が多いので、継続したパトロールの強化をお願いしたい。

速度取締り指針について

交通課長から速度取締り重点、管内における交通事故実態等について説明がなされた。

2 次回開催日程について（警務課長）

次回の泉警察署協議会は、令和6年11月ころに開催したい。